

打ち水大作戦 in 紀州和歌山 R05

打ち水大作戦は平成 15 年 8 月 25 日に東京で行われた一斉打ち水の社会実験に始まります。この日、都内各所で実施された一斉打ち水には 30 数万人が参加し、都心の気温が 1℃下がったといえます。翌年、様々な試みと観測が行われ、一斉打ち水は都会のヒートアイランド現象の対策となり、また地表温度を下げることで気温が下がり冷房電力の節約になるというデータがあがってきます。そして運動は全国展開をしてゆきます。

和歌山県では平成 19 年に初めて「打ち水大作戦 in 紀州和歌山」が実施されました。以来毎年継続して実施され、平成 30 年からは和歌山市の協力を得て打ち水用に再生水が提供されるようになりました。コロナ禍では大規模な一斉打ち水は中止してきましたが、各団体や個人による小規模な打ち水の実施を呼びかけ、ヒートアイランド対策、地球温暖化対策にささやかながら貢献してきました。

新型コロナウイルスの 5 類移行により催し物の制限が解除されたことから、今年は参加者を募集しての一斉打ち水や、「打ち水大作戦 in 紀州和歌山」の特色である実施後にシャボン玉を飛ばすことを復活させます。紀州檜のオイルを混ぜた檜ウォーターを撒いて、夏の暑さを吹き飛ばしましょう。

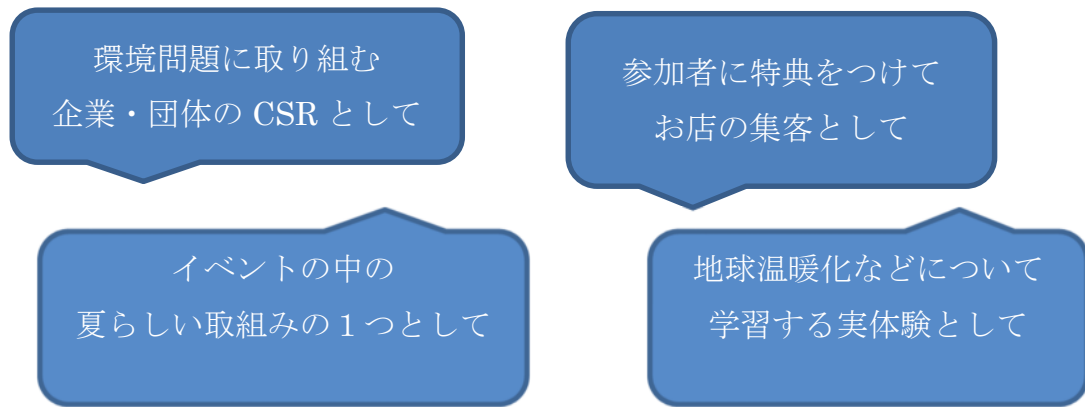
打ち水大作戦への取り組みは、各企業・団体等の環境意識への PR や CSR の 1 つとして、また SDG's の達成としてご活用いただけたと思います。

是非とも趣旨にご賛同いただき、打ち水大作戦 in 紀州和歌山に是非ご参画いただきたく、ご案内致します。

実施期間 令和 5 年 7 月 23 日（日）～8 月 23 日（水）の任意の日
（打ち水大作戦本部が定める大暑～処暑の期間に相当）

費用 協賛金 1 口 5,000 円
・ 桧オイル 18 ㍓分（紀州桧から抽出、18 ㍓の水に希釈して使用）
・ 案内ポスター、案内チラシ（適宜の部数）

申込期日 平成 30 年 6 月 20 日（水）
期日以降の申込みでも受付は致しますが、チラシ・ポスターに団体名の記載を致しかねます。



打ち水大作戦 in 紀州和歌山の仕様

- ・ 撒く水は2次水（工場の排水やクーラー室外機の水、ためた雨水など）を用い、桧オイルを適量混ぜた「桧ウォーター」を用いる。（オイルの希釈は0.1%を目安）
- ・ 2次水の確保が難しい場合、和歌山市企業局より再生水を提供してもらえます。
- ・ 打ち水終了後、参加者でシャボン玉を飛ばし、上昇気流を確認する。（シャボン玉が空に舞い上がれば効果あり、作戦成功です）

打ち水大作戦 in 紀州和歌山への参加方法

- ・ 期日までに事務局にお申し込み下さい。事業所でも任意団体でもお申込みは可能です。協賛金に応じた分量の桧オイルとチラシ・ポスターをお渡しします。チラシ、ポスターには貴団体名と実施日時・会場を記載します。
- ・ 打ち水大作戦の実施形態は2種類あります。
 - 1, 内部実施型…企業や団体の職員や関係者のみで実施する方法。
 - 2, 一般参加型…一般に向けて参加者を募り実施する方法。
 参加特典などを付加して集客に活かすことも可能です。
- ・ 実施に際し紀州材の桧桶使用を希望される場合、2口以上ご協賛で貸与いたします。
- ・ 協賛金につきましては下記口座にお振込み下さい。（振込手数料はご負担下さい）
紀陽銀行 太田出張所 普通口座 4 2 3 0 7 4 打ち水大作戦紀州和歌山

打ち水大作戦 in 紀州和歌山実行委員会

〒640-0361 和歌山市伊太祈曾 558 伊太祈曾神社内

電話 073-478-0006 / FAX 073-478-0998

